フクシマを忘れない！
さようなら原発
ヒロシマ集会

（写真：中国電力島根原発）

2024年
3.10 日
10:00～12:00

広島弁護士会館3階ホール

（広島市中区中区上八丁堀2-73）

福島からのビデオメッセージ　武藤類子さん
（福島原発告訴団団長）

島根原発2号機の再稼働を止めよう！　芦原康江さん
（島根原発3号機差止訴訟原告団事務局）

上関に「中間貯蔵施設」を建てさせない！　岡田和樹さん

東日本大震災・福島原発事故から１３年を迎えます。現在もなお、人の立ち入ることのできない帰還困難区域は広範囲に残り、廃炉作業も遅々として進んでいません。日本政府は、被災者の生活再建支援や健康への補償を次々に打ち切り、避難住民の切り捨てを進めています。さらには、地元や全国の漁業者などの「海を汚すな」との声を無視して、汚染水の海洋放出を強行し続けています。事故を起こした東京電力の旧経営陣の刑事裁判は控訴審で、政府機関の専門家が発表した地震確率予測である「長期評価」が信頼できないとして被告らを免罪しました。

岸田政権は福島原発事故の教訓を生かすことなく、GXの名のもとに原発再稼働を推し進めようとしています。中国電力島根原発も、地元自治体の合意を強引に取り付け、2024年8月には再稼働することが表明されています。また、上関町への「中間貯蔵施設」の建設計画も明らかとなっています。

そんな中で、発生した能登半島沖地震において、北陸電力志賀原発では、変圧器やモニタリングポストの故障、想定を上回る基準地震動、複数断層の連動、一部の電源喪失など改めて原発の脆弱性や原発事故時の避難の困難さなどが明らかとなりました。

福島原発事故を風化させないために、福島に寄り添い、福島の現状を学ぶとともに、原発の再稼働・「中間貯蔵施設」建設に反対し、原発をなくし、気候危機を止め、自然エネルギーへの転換を求めて、被爆地ヒロシマから「核と人類は共存できない」と訴え、今年もヒロシマ集会を開催いたします。ぜひ、ご参加ください。

芦原康江さん

プロフィール

1980年　島根原発2号機建設に子育て世代で反対活動を始める
1999年　島根原発1，2号機運転差し止め訴訟を開始・原告団長
2011年　さよなら島根原発ネットワーク事務局
2013年～1期・松江市議会議員
2013年　島根原発3号機差止訴訟原告団事務局

【主催】フクシマを忘れない！さようなら原発ヒロシマ集会実行委員会

呼びかけ人　秋葉忠利、箕牧智之、森瀧春子、山田延廣、岡田和樹

【連絡先】広島県原水禁・平和運動センター（広島市西区横川新町7-22☎082-503-5855）